

平成28年度 新潟県小中学校PTA連合会 第3回理事会 議事録

日 時：平成29年1月21日（土）13：00～14：50

会 場：新潟県商工会館7階 大会議室

参加者：役員5名、監事3名、理事23名

1 開 会

事務局

2 会長あいさつ

平石会長

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

年が変わり新年会等に出ることも多く、昨年を振り返る機会があります。昨年はいろいろなことがあり、まさかの年だったと感じていました。昨年はまず、年初に熊本地震があり国内も騒がしくなりながら、世界を見渡すとトランプ大統領が昨日就任され、リーダーが変わった年でもありました。新潟県でもリーダーの知事が新しくなり、年末には糸魚川で大規模火災があり、新潟県もいろいろなことがあった年だったと感じております。

今年は酉年です。昨日、ある会でお話を聞いたのですが、「酉」という字は、酒を入れる壺を表す象形文字で、それが酉という漢字になったということです。麴などを壺に入れておくと変化して酒になるということから、今年はお酒のように物事を熟成させて、成果が出る年だと聞いております。

平成30年日P新潟大会まであと1年半位になりました。今年は徐々に成果を出しながら、平成30年の日P新潟大会に繋げていきたいと思っております。

理事会の方はあまり時間がありませんが、先程お話しした糸魚川の件もありますし、日P新潟大会の件等いろいろとありますので、是非とも忌憚のないご意見をいただき、新年初めの良い理事会にしていきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 協議事項

議長 齊藤副会長

(1) 糸魚川大火への支援について

平石会長

―要項2ページ参照―

緊急を要するため、理事会を通す前に、既に1月10日に各郡市Pには通達を出しております。何卒、ご協力をお願いいたします。

詳細説明（糸魚川市P連 田原理事）

こんにちは。この度の大火におきまして、皆様方からのご厚情に心より感謝いたします。ありがとうございました。私から簡単に糸魚川大火について報告させていただきます。

12月22日10時30分頃、ちょうど糸魚川中学校の終業式の時でした。終業式に参加しておりましたら、街の方から煙が上がり始め、その後30分もしないうちに、どんどん飛

び火で 20m、30m、50m 先が燃え始め、その中に生徒の自宅があり、急に慌ただしくなりました。ラーメン店から出火し、結果、約 4 万㎡・全焼 120 棟・半焼 4 棟・部分焼 23 棟・計 147 棟、120 世帯 224 人が被災しました。12 時 30 分頃、避難勧告が発令され、解除されたのが 2 日後の 24 日午後 4 時頃でした。消防車両 126 台、延べ人数 1,005 人程の方々が消火活動に当たっていただきました。鎮火は約 30 時間後の 23 日午後 4 時 30 分頃までかかりました。被災児童・生徒は、糸魚川小学校 2 世帯 3 名、糸魚川中学校 1 世帯 1 名、高校生は白嶺高校 3 世帯 4 名。避難指示・勧告地域の避難所への避難児童・生徒は糸魚川小学校 47 名、糸魚川中学校 8 名です。糸魚川市 P 連で臨時の理事会を招集し、市内 4 校の高校の保護者会長も参加していただき、災害義援金募金のお願いを年明け 1 月 10 日に配布させていただきました。

現在は瓦礫の処理も進んでおります。国の方から、被災者生活支援法の適用も受けましたし、県の方からも被災者生活支援制度を適用していただき、被災者の瓦礫撤去負担もゼロになっております。糸魚川市では今、復興に向けて頑張っております。今後も皆様方にご協力をお願いしたりご迷惑をお掛けしたりすることがあるかもしれませんが、何卒、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(2) 日 P 新潟大会について

事務局

ー第 6 6 回日本 P T A 全国研究大会新潟大会開催案 (Ver. 5) 参照ー

前回の理事会後に変更・決定したことをお伝えしたいと思います。

○佐渡会場はカーフェリー・ジェットフォイルの利用が必要なため、他の 9 つの分科会とは別日程で行うよう調整していただきました。カーフェリーの利用でも可能な時間で日程を組んでおります。1 月 17 日の日 P の三役会で説明し、概ね了承されたと考えております。

○佐渡会場については、アミューズメント佐渡は港から時間が掛かるので時間短縮のため、両津文化会館を予定しています。

○各分科会事務局に基調講演者等のご報告をいただきました。また資料等を出していただくこととなりますがよろしくお願いいたします。第 6 分科会の基調講演者については、これからスケジュールの調整等がありますが、佐渡と繋がりがあるということで野口健さんに内定し、日 P から内諾をいただいています。その他の分科会についても、2 月 9 日の日 P 三役会に資料を提供し、内諾をいただきたいと考えております。未定の所もありますが、決まり次第ご報告お願いいたします。

○全体会の会場について (全体会部 恩田部長)

参加人数について、資料は 6,300 人になっておりますが、最低 7,000 人以上と日 P からの依頼があったため、会場も含め再度検討しています。「アオーレ長岡」+「長岡市立劇場」から「アオーレ長岡」+「ハイブ長岡」で調整中です。(最大 8,500 人まで対応可能)

(事務局長補足) 日 P の三役会で参加者数を再検討してほしいと依頼がありました。

関ブロとして受けており、新潟県P・新潟市Pだけでは決められないので、1月27日に関ブロの会長・事務局長会議で提案して決定することになります。今までの大会の割当を見ると、担当ブロック外の人達が約2,000人でした。最初はブロック外が2,500人、関東ブロックが2,000人になっておりましたが、この人数は過去の大会を見ると6,300人だとしても、関東ブロックが2,500人じゃないとうまくいかないのかと思います。前回、千葉大会が行われた時は全体で8,000人、関東ブロックで6,000人、千葉市・千葉県で4,500人を分担しています。この時とは規模も違いますし、時代も少し変わっているので、関ブロ新潟大会の状況を説明して調整させていただくことになるかと思います。

○12月10日の実行委員会で承認をいただいた会則を載せております。

○実行委員会組織図の変更点

行政からの支援をいただくので、県P・新潟市P連の顧問だけではなく、参与として「県教育委員会」「新潟市教育委員会」を追加。PTAのために、校長会からもご協力・ご尽力いただくため「県小学校長会」「県中学校長会」を追加いたしました。各部の部長だけ◎印がついていましたが、各副部長にも○印をつけさせていただきました。広報部については、既に新潟市P連の方で活動していただいています。全ての郡市Pの方にご支援をいただいて活動しておりますが、会長・実行委員長さんのお名前等が変わられた時はお知らせくださるようお願いいたします。同様に、各分科会の実行委員会についても、行政の方からのご協力をいただくので、顧問だけではなく、参与として「市町村教育委員会（主管郡市）」「市町村校長会（主管郡市）」に要請し、参加していただくようお願いいたします。

○予算案

徳島大会の状況や新潟市P連との調整もあり、幾つか変わった所があります。

[収入の部] 自己財源 600万を用意することになっています。会員割りで県Pと新潟市Pの会員数が約2:1ですので、県P400万、新潟市P200万に変更。

[広告収入・協賛金] 徳島大会(700万円)の規模と比較して、800万に目標を設定。

[支出の部] 全体会場の設営に経費が掛かりそうなので、全体会費を増やしてあります。その関係で分科会費を少し下げました。過去の大会を参考にして、講演料・アトラクション費用はあまりお金をかけていないので、減額することにしました。今のところ1分科会180万円以内(シャトルバス等を除き)でお願いしています。

(会長補足)

最初は参加者数6,300人で予定していましたが、日P最大の事業なので7,000~9,000人で進めてもらいたいと話がありました。何故6,300人になったかという昔の経緯から説明しご理解いただきましたが、全体会も含め、最終的に7,000~9,000人の間で考えていきたいと思います。

来週、関東ブロックの協議会があり、そこで、関東ブロックの中で参加者数がどの

位見込めるかお話をして、全体の参加者数は決めていきたいと考えています。佐渡の（基調講演者）野口さんは内諾ということで、話を進めていただければと思います。その他の協議事項については決まり次第、随時ご報告させていただきます。

○イメージカラー（広報部 石田副部長）

青に決定しました。

（事務局補足）朱鷺の色・夕陽の色等の案がありましたが、夏ですし、海の色・新潟県のマークの色が青だったので、爽やかなイメージの青に決定し、Tシャツや看板などの基調色になります。

○シンボルマーク

いろいろな所で使えるようデジタル化し調整している最中で、もう少しで完成し、お披露目できます。デビューを楽しみにしててください。朱鷺と稲穂と新潟県がモチーフになっています。

質疑応答

（佐渡市P連）基調講演の野口健さんに内諾いただきありがとうございます。それ以後の流れとして講演依頼をしていきますが、野口さんとはアンテナがあるので事前に打診をして構わないか。

（事務局）正式な文書は実行委員会から出る形になりますが、スケジュールを抑える、出演料等の交渉はしていただいて、OKをいただいたら正式な文書を出すことになります。本当に正式な文書については当年度になるようなので、仮契約という形で押さえていただくことになるようです。実行委員会からの正式な契約文書については、早期に用意しておきたいと思います。

（会長）野口さんとはどのような形で契約されるのか。電通のような広告代理店等を通す形か、個人的な繋がりでの契約なのか。

（佐渡市P連）現状では個人的な繋がりがある方がいて、それを表立ってやっていいものか、それとも県Pや日Pを通して正式に文書を出してやるべきなのかを確認しました。

（会長）何故こういう質問をしたかという、例えば、当日来られないとか、キャンセルになった時にリスクを誰が負うのかということが出て来ると思います。電通等の会社を通した時には、そういった部分がしっかり出来ると思うが、個人的な方と交渉を進めて行く中では、その辺りがリスクなので、その辺りを加味して契約を進めていただきたいと思います。

（佐渡市P連）分科会の実行委員会等で話を進めていきたいと思います。又、決まったことなどを報告していきたいと思います。

（糸魚川市P連）

参考までにお話させていただきます。横澤夏子さんの講演を今年度、糸魚川中学校

で行いました。お父さんが糸魚川中学校におられるということで、その際は糸魚川市Pの幹事の中で糸魚川の広告代理店の者がいて、吉本興業に直接電話して、新潟エリアを担当しているマネージャーに依頼して、横澤夏子さんと呼んで講演会していただきました。講演料は30万円。30分でそれ位費用がかかりました。ただ、台本は吉本興業がものすごく細かく、どういった流れでやるか、ネタは絶対やってはいけないなどの縛りもありましたが、そのような感じで夏子さんと交渉して講演していただきました。

(3) 29年度 事業計画と日程

①「29年度会議日程」について

事務局

－要項3ページ参照－

青字は確定しているもの、黒字は予定で確定していないものです。今年度と同じ時期・曜日周りで入れさせていただきました。オレンジの網掛けは30年日P新潟大会の実行委員会。6回予定しており、必要があると更に臨時に実行委員会を開催するかもしれません。

②「広報紙コンクール」「広報紙セミナー」「県P表彰」について

「広報紙コンクール」－要項4ページ参照－

(恩田広報委員長) 募集期間が、年度をまたいでいるので注意してください。2月中旬発行の県P広報紙にも実施要項に基づき概要を掲載しているので、ご覧いただきご応募いただければと思います。

(事務局局長補足) 締切日が過ぎてから問い合わせが来た学校がありました。締切日をお忘れなく。3月に最終号が出てから応募しようとして、担当の先生が異動してしまい応募出来なかった場合もあったように思います。3月に広報紙の発行があり、その後に応募を予定している学校は特にご注意願います。特に上位入賞を狙っている場合は、日Pの「広報紙コンクール優秀広報紙作品集」が発売されているので、それを参考にさせていただいて、良いものを真似てみるのもよいかと思います。広報紙コンクールの審査員は、新しい広報委員が決まっておりますので、今年度の広報委員の皆様は審査していただきます。県Pの総会で表彰することになりますので、よろしく願います。

「広報紙セミナー」－要項5、6ページ参照－

広報紙のレベルアップのために、広報紙セミナーを4地区で行っております。開催地区の郡市Pの方はご準備願います。会場は所属の地区だけではなく、所属地区以外の会場でもかまいませんので、都合の良い会場を選んで日程調整していただき、少しでも沢山の方から情報を得ていただきたいと思います。

開催担当地区の方には、60～100名程度入る会場を押さえていただきたいと思います。

「県P表彰」－要項7、8ページ参照－

既に昨年末に団体表彰等の準備を各郡市Pの事務局にお願いしております。個人表

彰はお名前と役職を報告していただくだけでですが、団体表彰については、推薦文等が必要になり手間が掛かります。今まで推薦があがって来ていない郡市Pもあります。教頭先生が事務局の所では、3月にあげようと思っけていても、ご自分が転勤になるとそんな余裕がなくなるのかと思います。HPから様式をダウンロードしていただき、自分の学校は頑張っているからと出していただくのが一番ありがたいと思っけています。ただし、推薦の規程がありますので、見ていただいてあげていただくと良いと思っけています。

例年団体表彰された単位PTAの中から次の年の関東ブロック大会で発表していただっけていますが、30年は関東ブロック大会を兼ねますので、例年とは違っけてきます。単位PTAで発表するのかわ、幾つかわの単位PTAがまとまっけてするのかわかりませんが、発表する予定のPTAを優先的にあげていただくことで、そのご努力を表彰させていただくことになるかと思っけています。それぞれの分科会で違っけて思っけていますので、個別に相談させていただければと思っけています。

③「県P研究大会五泉大会」について

五泉市P連 魚野理事

「県P研究大会五泉大会」－要項9、10ページ参照－

10月7日(土)に行います。会場は以前ご案内した会場から変更し、「さくらんど会館」で行います。大会スローガン『きなせや 五泉 人と自然が創り出すふるさとへの思っけ』ということで、非常に田舎町ではございりますが、田舎町ならではの発表が出来ればと思っけて計画させていただいておっけています。高速道路の降り口が3箇所に渡っけており、高速道路ICからの道案内を徹底したいと話っけています。ここ近年なかつた物品販売についても行っけていたいと考え、選別しながら準備を進めておっけています。講師は「地球のステージ」代表の桑山 紀彦氏で準備を進めておっけています。

人数割は500人で想定しておっけており、人数が変更になるようでしたら、早めに連絡させていっけていただきます。よろしくお願っけていたします。

④「日P仙台大会」「関プロ群馬大会」「県P五泉大会」参加者について

事務局

－要項11ページ参照－

日程については年間予定でご紹介したとおっけています。

日P新潟大会の実行委員会で決まっけてしたこととして「日P仙台大会」「関プロ群馬大会」では日P新潟大会のPRをします。大体10分科会場があるので、PR隊約10人ずつで、少なくとも約100人位は参加しないと上手くいっけてないということですよ。

約100人を新潟市P連と2:1で分けて、「日P仙台大会」約67人、「関プロ群馬大会」約67人、新潟市P連が33人ずつで計画しておっけています。両大会とも今年度の人数から約2倍に人数が増えておっけていますが、PRだけでなく運営の仕方を学んで新潟大会に活かしていただっけてないと困るので、運営のために主に主管郡市のところに人数を増やしておっけています。車で参加する予定でおっけています。旅費については、日P新潟大会から出費することに決まっけておっけていますが、宿泊費等が掛かっけてきますので、今後確認してお示

ししたいと考えております。出来るだけ沢山の方々に参加していただきたいのですが、経費の問題等もあり、宿泊しないで帰って来ていただく方等、幾つかのグループに分かれるかもしれません。全体会は 100 人も PR 隊はいらないので、全体の役割分担と関連させて役割分担を決めさせていただければと思います。

「県 P 五泉大会」については、下越地区開催ということで、会場までの距離を考慮して下越地区に多めに配置しておりますのでよろしくをお願いします。

質疑応答

(柏崎市 P 連)

「日 P 仙台大会」(8 月 25 日～26 日)が、柏崎の研修大会(8 月 26 日)とぶつかってしまうので、6 人という人数が出せるか現状でははっきり言えない、日程が重なることをご承知いただきたい。

(会長)

柏崎は分科会開催があります。前日は分科会がありますので、日帰りでも構わないので、準備の姿や実際に講演されている様子を見ていただきたいと思います。また、スケジュールは調整させていただきます。

(柏崎市 P 連)

分かれて行くとかになると思います。

(会長)

可能な形でお願いしたいと思います。

(事務局長)

今のお話ですが、実際に新潟大会を運営する側として考えますと、全国大会の状況を知る最後のチャンスになります。特に新潟大会の運営に関わる方には、実際に見ていただきたい。見たことも聞いたこともない大会を運営することは難しいので、その辺りを考えて、他の分科会の方も是非参加していただきたいと思います。本部の方でも前日から準備が始まっているので、1 日早く入って準備を見て来なければいけないと話しております。そういう点でも、全体会は無理だとしても、分科会は是非参加して見ていただきたいと思います。

(4) 29 年度 県 P 連役員選考について

事務局

—要項 12 ページ参照—

役員選考には規約がありますが、一部改訂させていただきたいと思提案いたします。理由について、今は保護者の意見を聞きたいということで、県や県教育委員会、その他の社会教育関係団体などからの出席要請が多くなっています。会長・副会長への要請が多く、会長への要請についても、全部は会長が行けないので、副会長が代わりに行ったり、旅費が出ないので近くの郡市 P にご協力をお願いしたりしたこともありましたが。その中で、特に女性の役員をお願いしたいとの要請があります。例えば調

理コンクールの審査員など、女性でなければ駄目なのかと思うものもありますが、女性の役員がない団体もあり、参加者のうち女性の割合が何割と決まっている会議もあるので、女性役員が入っている団体には出来るだけ女性をお願いしたいとの要請が多いです。

更に日P新潟大会のために会議が増えております。今は大体、月に1回ペースで日P新潟大会の本部会が開かれており、月2回の時もあります。そこで、規約に次のように追記させていただきたい。「日本PTA全国研究大会及び関東ブロック研究大会を開催する場合は、(副会長を1人追加し)副会長を5人とすることができる」括弧書きの(女性2人)というのは内規のようなもので、現在も女性1人というのはどこにも書いていないのですがお願いしています。

それから、平成30年度の日P新潟大会をスムーズに運営出来るように、平成29年度・平成30年度を継続して出来る役員の方をお願いする必要があるということで、規約第13条は「会長、副会長、及び監事は連続2年を限度とする」。そうしますと、齊藤副会長は終わりとなり、他の皆さんは今年度役員をされていますので、29年度で退任されてしまいます。平成30年度の4月に交代されて4ヶ月と少しで大会となると、後任の方も大変です。現在のところ、会長は要請があれば延長できるとなっておりますが、追記をして「4年まで任期を延長することができる」と変更する提案をさせていただきます。なぜ4年かといいますと、現役役員は28年度1年目の方が多く、3年にしますと、30年に皆さん一斉に退任されてしまい、総代わりになる可能性があります。どなたかに残っていただいて、県Pの方でも上手く引継ぎをしていただきたいと思います。31年までお務めいただくことも可能になりますが、絶対に4年ということではありません。次回の日P大会は何十年後ですが、関東ブロック大会は10年後に来る可能性がありますので、規約を一部改訂させていただきたいという提案です。

ー承認ー

(事務局)

ありがとうございました。この規約の改正は総会での承認が必要になります。3月18日に第3回日P新潟大会実行委員会を予定しておりますので、それに併せて臨時総会を開催し、そこで改正の承認を得てから規約を適用することになります。新年度の役員は、その規約に基づいて役員を選んでいただくこととなります。県Pの役員が出た郡市Pは、更に理事を選んでいただかなくてはいけないこととなりますので、ご予定を考えていただきたくこととなります。後ほど、3月18日の第3回日P新潟大会実行委員会と併せて臨時総会の開催をご案内させていただきます。臨時総会ですので、欠席される場合は委任状が必要になります。その旨、ご了承ください。

(5) 29年度 県P安全互助会事務手数料、県P 郡市研究推進費等の助成について

事務局

今、お手元にお配りした資料と郡市Pで加入者が5名以下の学校名を示した資料を

各郡市Pに1枚ずつ配布しました。

28年度の「総合補償制度」について、11月の理事会でもお話ししましたが、掛金総額の5.4%が事務手数料として保険会社から（互助会を經由して）県Pと新潟市Pに支払われます。そのうち28%が各郡市Pに振り込まれます。⑤の金額が、既に11月に各郡市Pと新潟市Pに事務手数料として振込まれたと思います。72%の⑥の金額を一旦県Pがお預かりして、お預かりした金額の中から、県P研究大会に100万円、郡市研究推進事業費5万円×22郡市P＝110万を助成していました。しかし、この総合補償制度がなかなか周知されないということもあり、皆様に事務手数料について知っていただくためにも、29年度は配分方法を変えたいと、互助会が今日の理事会で提案することになっています。この後の互助会の理事会もオブザーバーとして残っていただいて、ご意見をいただければと思います。それぞれの郡市Pの規模も違いますし、実情があると思いますので、その辺りのご意見を述べていただきたいと思います。

⑧をご覧ください。もし、契約金額が今年と同じ金額であった場合、29年度は取りあえず100%（掛金総額の5.4%全額）をそれぞれの郡市Pにお渡ししたい。その場合の金額は⑧で太字になっています。事務手数料だけではなく、各郡市P連一律に5万円の郡市研究推進費がプラスされている⑦の金額が、今年度各郡市Pに助成された金額になります。C案になりますと金額が変わり、C案で計算した金額との差額が⑨の金額です。増える郡市Pもあれば減る郡市Pもあります。ただし、この金額は掛金総額が今年と同じ金額だった場合の金額になります。③を見ていただくと、残念ながら27年度よりも28年度は掛金総額が減額になっている郡市Pもあります。いろいろな事情があるかと思いますが掛金総額が減りますと、当然ながら⑧の予想金額も下がって来ます。例え100%だとしても金額が下がることになります。

一番高い加入率は新潟市中央区で、加入率23%となっています。大規模な郡市もありますし、小規模な郡市もありますが、生徒数と比べてその加入率が10%に近づくようにしていただきたいと思いますということで、この資料をお配りしました。

今回資料をいただいてデータを見ましたが、同じ位の規模でも何十人も加入者がいる学校もあれば、何百人規模の学校なのに1人しか加入者がいない学校もあり、私もびっくりしました。小規模の学校ばかりの郡市でも、5人以下の学校はなくて、全ての学校が6人以上の加入者がいる郡市もありました。ご協力いただきありがとうございます。今回データをお渡ししたのは、どんな事情があるのか情報を集めていただいて、互助会の方へお知らせいただきたいと思いますので、それを参考に、来年度の郡市Pの予算案を作る時に参考にいただければと思います。

そして、実は皆様にお詫びをしなければいけません。皆さんに頑張っていただきたいとお願いしながら、申し訳ありません。29年度の「総合補償制度」のご案内の封筒の色はこの色（黄色）です。目に焼き付くように強烈な色にしてくださいとお願いしてこの色にしました。いろいろな理由から、幹事会社が共栄火災から29年度の新規契約

から東京海上日動に変更になりました。新しい幹事会社の中で規約を一からチェックしなければならなかったため、1月中旬には間に合わないことになりました。あちこちの学校・郡市の皆様にお声を掛けてくださっていた理事の皆様には、本当に申し訳ないと思っております。発送予定は2月3日又は6日となります。小学校長会の村川先生にお聞きしたところ、来週の頭くらいから入学説明会が始まり、30日の週が一番多いだろうとのお話でした。そうするとかなりの学校が入学説明会には間に合わない。29年度分は、小学校1年生にだけ1～2月に送り、中学校には送らないことにしています。本当に申し訳ないと思っております。間に合わなくて配れず、3月10日までに申込をしないと、4月1日からの補償が間に合いません。始業式や入学式にも配りますが、その後の申込ですと5月1日からの補償にしかありません。もし、4月中に事故等があった時のことを考えると、入学説明会に間に合わなくて本当に申し訳ありません。

その対応についてご要望をいただき、各郡市P連の事務局を通じて、互助会から各学校に「お詫びの文書」「ご案内の文書」を送り、入学説明会にご案内だけでもしていただけるような手配を考えているところです。昨年度も間に合わず、PTA担当の先生が10以上の幼稚園や保育園に配って回った学校もあるとお聞きしました。大規模な学校であればさらに沢山の幼稚園・保育園があり、大変だと思います。取りあえず資料を配り、学校にもお詫びをしなければいけないのですが、今お話したように幼稚園・保育園に配っていただくか、4月1日から心配なので申込みをしたい方には、学校に取りに行っていただく形にならざるを得ないかと思っております。本当に申し訳なく思っておりますと、保険会社も申しておりました。来年度は必ず1月の早い段階で間に合わせます。内容が変わらなければ間にあうということでした。お詫びとお願いということで、もし問合わせがありましたら、そのようにお答えいただくようお願いしたいと思います。誠に申し訳ありませんでした。

(6) その他

特になし

4 報告事項

(1) 各委員会報告

○教育問題委員会

岩渕副委員長

本日は内藤委員長の代わりにご報告させていただきます。

昨年11月に行った教育問題研修会に多くの方からご参加いただきありがとうございます。講師の方にSNSやフィルタリング・セーフサーチのご指導をいただき、本当にためになる話だったと思っております。これからも教育問題について皆さんに考えていただきたいと思っております。2月の広報にも掲載されますのでご覧になってください。

○広報委員会

恩田委員長

本日、理事会前に広報委員会を開催しました。2月15日発行予定の第102号は、年末年始に皆様からご寄稿いただいた原稿をもとにほぼ出来上がっております。記載内容について関係先に確認が済めば印刷に入れると思いますので、2月の中旬頃には学校からお子様の皆様のもとへ持って行くと思いますので、ご覧いただきたいと思います。

広報委員会は広報紙コンクールの審査もありますので、広報委員の方はそれも頭に入れておいていただきたいと思います。

(事務局補足) 総会で交代するまでは、今年度の広報委員会の皆様には引続きよろしく申し上げます。

○組織検討委員会

三ツ井副委員長

委員長に代わり、報告させていただきます。9月10日に行われました組織検討委員会の内容が、2月に発行されます広報紙に掲載されていますので、皆様ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

(2) 日P「国内研修事業」参加者決定(男女各1名)

事務局

今年度は男子10名、女子25名の応募者があり、役員の方で検討し、参加者が決定しました。参加者は男子は柏崎市立瑞穂中学校1名、女子は上越市立大潟町中学校1名の生徒を推薦し、この度、日Pから決定の連絡がありました。参加費を補助することになっております。3月26日から3月30日まで沖縄で研修が行われます。内容については来年度9月発行の県P広報紙で発表してもらう予定でおります。沖縄での参加になりますので、泳力、船に乗るので乗り物酔い等いろんな条件で選ばせていただきました。

(3) 「熊本地震募金」2,502,647円(12/31募金期間終了まで)

事務局

12月31日で締切らせていただきました。大変沢山の募金がありました。ありがとうございました。3回に分けて既に全額を熊本県Pに送らせていただきました。熊本の方では、熊本県P・熊本市P・大分県Pに被災の割合に応じて配分したとのこと。お礼・使途の報告が詳しく日P新聞に掲載されておりますのでご覧ください。

(4) 外部会議等参加

事務局

ー要項13、14ページ参照ー

11月以降も大変沢山の会議に参加していただきました。参加の皆様、これだけはお話したいということがありましたらお願いします。特にありませんでしょうか。この後も年度のまとめの会議が入って来ますので、引続きよろしく申し上げます。

5 その他

特になし

6 監事講評

加藤監事

改めまして新年あけましておめでとうございます。本日は雪で足下も悪く、学校ではインフルエンザ等が流行っている中、皆様から第3回理事会にご参集いただきましてありがとうございます。

糸魚川大火におきましては、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、長野県・富山県などの地区からも消防隊等の皆様に参集いただき、昼夜を徹して鎮火活動にあたっていただきました。関係者各位に心からの敬意と御礼を申し上げます。また、県Pからも義援金ということで、第1弾として20万円を皆様からのご厚情としていただき、ありがとうございます。一日も早い復興を願っております。実は私も糸魚川市民の一人であります。田原理事からも先程お話があったとおり、辛いこともありますが、本当に不幸中の幸いで、被災したお子さんが少数で最小限に押さえることができました。16名の方が負傷されましたが、一般市民の方2名と消防関係の方14名でした。消防隊・消防団の消火活動が大変だったことを物語っていると思います。

長岡でも北越の戊申戦争並びに第2次世界大戦の戦火に覆われました。(糸魚川でも)空襲の焼野原を見ているような今こそ、小林虎三郎が行ったように、教育を通しての人材育成が復興の源だと思い、司馬遼太郎の「峠」を読み直しています。その中で、河井継之助が現状からどのようにしていったら良いのかと考える部分が凄く身にしみます。そういった部分も日P新潟大会に向けて全国に発信できればと思っております。

本日は日P新潟大会以外にも、29年度の案件で規約変更の話もありましたが、変えるべきことは先手を打って変えて、人の流れと意志疎通を取り乱さない。大会当日が終わればそれで良いということではなく、その後の報告・監査等を含めた所まで全てをしっかりと行うことを、(自分の)次に大会に関わる方に繋げていけて、初めて役割を担ったと言えると思います。単年度で代わられる方はしっかりと情報伝達をしていただく、継続される方は4年任期ということで長丁場になりますが、是非ともご尽力いただき、日P新潟大会を開催していただきたいと思っております。

また、事務局から説明があったとおり、この後、互助会の理事会がありますので、該当される方はご出席いただき、平成29年度の部分に大きく関わってきますので、それを含めての意見や課題についてご質問いただければと思います。

報告事項については、大きい事に目が行ってしまいましたが、小さな事一つ一つが積み重なっていきます。まず委員会、そして来年開催される県P五泉大会と、一つ一つをしっかりと開催していくことが日P新潟大会に繋がっていきます。それを忘れずに、各学校の単位PTA事業をしっかりと行っていくことが大事だと思っておりますので、長期的な展望を見ながら、一つ一つを積み重ねていただきたいと思います。

広報紙コンクールも参加していただきたいと思っております。他の学校の活動を見ていただくことは勉強にもなりますし、良い部分は真似ていくことが大事だと思っております。広報紙コンクールを見ますと、紙面の良さだけではなく、裏にはしっかりしたPTA活

動や参加率の高い運営があるなど見習うべきことが沢山あります。

来年度も事業の開催数も大変多くなりますが、体調等を整えていただいて、また皆さんとお会いできればと思います。本日はお疲れさまでした。

7 閉会のあいさつ

中嶋副会長

皆様お疲れさまでした。

午前中に長岡市の事業で、中学1～2年生を中心に「子ども未来塾」というものを開催しております。その講演会の講師は、元フジテレビのアナウンサーの菊間千乃さんでした。現在は弁護士をされているそうですが、計画的に物事を進めていくというお話で、とてもためになる、子ども達も真似できるようなお話をされていました。最後に、何事も「PDCAサイクル」だと話していました。企業などでも使われているのですが、PがPlan、DがDo、CがCheck、AがActionで、何事も戦略的に行動し目標に向かって前進していくということです。自分の中でプランを立てながら考えていこうと彼女は講演で言っているそうです。

これから30年の大会に向けて、私達一人一人がいろいろな気持ちで頑張ってやっていこうとプランを考えていくと思いますが、それを皆さんで話し合っ、それを実行出来るように持っていけたら、そして皆さんに来て貰って、皆さんに喜んでいただいて成功というところまでが最後になると思います。皆さん、それまで県Pに4年いられる方は是非いてほしいですし、これからも新潟県PTA連合会とともに頑張っていてほしいと思います。

この後は、互助会の理事会とその後に合同新年会があります。長い時間とはなりませんが、参加される方は楽しんでやって行きましょう。今日は誠にありがとうございました。